

人口増加率は、全国の中核市でNo.1 吹田市の今、そして未来は？

最新の国勢調査で、吹田市の人口は**394,503人**になりました。5年間で8,936人、**2.32%の増加**です。公表された速報値から計算すると、全国62の中核市の中でいちばん高い伸びでした（大阪府の発表では府内で2位）。

人が集まるのは喜ばしいこと。ただ、同じ62市の物差し（経常収支比率）で財政を見ると、吹田市のかかえる課題も見えてきます。



人口の増加率（2020年→2025年）

+2.32%

中核市62市中 1位

令和7年国勢調査 人口速報集計（2025年10月1日現在）。順位は公表された速報値からの算出。

経常収支比率（令和6年度決算）

101.0%

中核市62市中 62位

吹田市「令和6年度 財政状況資料集」。100%を超えると新規事業の余力は計算上ゼロ。

■ 経常収支比率 101.0% —— 中核市62市中62位

財政の指標の一つに「経常収支比率」という数字があります。毎年決まって入ってくるお金のうち、毎年決まって出ていくお金（人件費・施設の維持費など）が何%を占めるか、という指標です。**100%を超えると、新しいことを始める余力が実質的に「無くなる」**。

令和6年度の決算では、吹田市はこれが**101.0%**になりました。前年度は96.2%、市の目標は95%です。あくまで財政指標の一つではありますが、弾力性に欠ける財政であると言えます。

人件費	30.9%（62市中61位）
物件費	22.0%（62市中60位）
公債費（借金の返済）	7.5%（62市中2位＝軽いほう）

市自身が、こう分析しています。「**直営の公共施設を多く有していることや、市独自事業を実施してきたことから、（中略）類似団体の中で最も高い数値**」。手厚くやってきたことの半面、身動きの取りにくさとして表れています。

■ 吹田市の貯金は129億円。 目標には38億円足りません

財政調整基金（市の貯金）の残高は**129億3,200万円**。市が目安とする水準には38億円ほど足りず、令和6年度は19億円を取り崩し、残高は前年度末から約16億円減りました。令和7年度も取り崩しが予想されます。借金返済に備える減債基金は、**吹田市には設置されていません**。

■ これから30年で、公共施設の建て替え に4,987億円

市が持つ公共施設は361施設・延床86.7万㎡。市の計画では、令和8年度からの30年間で更新・改修におよそ**4,987億円**、年平均166億円が必要と見込まれています。今年度の一般会計約1,820億円の、およそ9%にあたります。

——お伝えしたいのは、財政状況が悪いという事ではなく「**余力が小さい**」という**事実**です。保育所も、学校も、水道も、避難所も、この前提の上で順番を決めることになります。裏面で、その影響をご報告します。

財政の硬直化、その影響は、暮らしのここに出ています

子育て 保育所「待機児童17人」の裏に、希望の施設に入れなかった子が874人

今年4月時点の待機児童は17人（昨年は4人）。ただしこれは国の数え方によるもので、申し込んで入れなかった子ども（未利用児童）は**874人**、前年より59人増えました。うち1歳児が**521人**。およそ6割の家庭が育児休業を延長しています（5月定例会での市の答弁）。今年度募集の認可保育所は令和10年4月開設予定です。

学校 今後6年で子どもが5,122人減る。同じ市内に、32学級と11学級が存在（規模の格差が拡大）

市内の小中学生は30,309人（令和7年）から25,187人（令和13年）へ、6年で5,122人減る見込みです（市教委の中間推計）。一方で、地域による差は開いています。

千里第三小学校

1,101人

32学級／運動場は1人6.7㎡

岸部第一小学校

252人

11学級／運動場は1人38.9㎡

運動場は5倍以上の開きです。統廃合も通学区域の見直しも、住む場所によって違う形でやってきます。

介護 ご高齢の方が増え続けるのは、2050年まで

65歳以上の市民は**92,670人（2025年）**から**123,497人（2050年）**へ。高齢化率は24.2%から34.7%に（市推計）。総人口が減り始めたあとも、介護のニーズは25年間ふえ続けます。

問題は**お金より人**です。市の推計では2040年に介護人材が**3,600～5,000人不足**。訪問介護員が足りないと答えた事業

者は、すでに**87.9%**。介護保険料（現在 月6,280円）の次の改定は**2027年4月**。計画が固まってからでは動かせません。

決定

市の介護老人保健施設は、令和9年10月に市の施設としては廃止し民間へ引き継ぐことが、5月定例会で決まりました。

防災

大地震で、断水9割・復旧に1か月。市の備蓄は1日分です

市が想定しうる最大の直下型地震では、**死者503人、全壊7,291棟、罹災者105,761人**。**市民のおよそ4人に1人**が被災します。**断水率91.8%、復旧まで約1か月**。ガスは99.7%が停止し復旧まで2～3か月。

直下型地震では、市の備蓄は「**1日分を大阪府と折半**」の考え方です。**ご家庭で最低3日、できれば1週間分**をお願いします。

もう一つ。指定避難所123か所のうち**33か所は浸水想定区域の中**（うち13か所は1.0～3.0m）。**地震のときと水害のときで、行き先が変わります**。今日、ご家族で確認してください。

浸水想定区域内の例：吹田第三小学校、メイシアター、勤労者会館ほか。11月には市として初の避難所宿泊体験訓練も予定されています。

水道

下水道管の3割が、老朽化を迎えています

下水道の管渠老朽化率は**29.39%**（令和6年度決算）。全国平均9.46%、似た規模の市の平均15.32%に対し、市自身が「極めて高い」と分析。水道も10年で367億円の更新が必要で、料金改定の審議も進んでいます。

【この秋】北千里駅前

北千里駅前の再整備が**11月に都市計画決定される予定**です。区域は約3.5ha、駅前の広場空間は**900㎡から約4,000㎡へ拡大**。計画案の縦覧と意見書提出の手続きが進められており、**都市計画決定を経ると、再開発のグランドデザインがある程度、明らかとなります**。北千里地区の住民として、皆様が安心して、納得して暮らせる街を作ります。

定例会 本会議で、にしおか友和 が聞いたこと（定例議会 個人質問）

1. 竹見台・桃山台の近隣センター再整備

研究会結成から10年。都市計画決定の時期は「現時点では未定」との答えでした。理由は未同意の権利者への対応、合意形成、そして工事費の高騰です。市から「**これまで以上に積極的に関与するとともに支援してまいります**」との答弁を得ました。予算の裏づけまで求めます。

2. 学校の先生の働き方

月80時間超の残業をしている先生は**110人から35人へ**、45時間超は**507人から291人へ減りました**。ただ、定時に退校せざるを得ず自宅で教材研究をする「持ち帰り残業」の把握はまだ検討段階。赤ペンやコピー用紙が慢性的に不足していると、現場の先生からも届いており、市も「予算のやりくり」に苦慮していると認めています。

3. 市役所とAI

市長は「効率的な市役所と、人と人が話し合う市役所が**両方とも共存する姿**を明確にイメージしている。間違いなく10年以内に実現します」と答弁。窓口の最長待ち時間は3時間9分です。デジタルに不慣れな方ほど窓口が頼り。対面の窓口を残す約束が守られるか、しっかりと注視してまいります。

吹田市議会議員 にしおか友和

気づいたこと困っていること。どうぞお寄せください。

事務所

吹田市泉町1丁目3番40号 吹田市役所内

吹田市議会会派 立憲民主党

電話

090-4640-1285

PROFILE

- 1974年 吹田生まれ・吹田育ち。3児の子育て真っ最中
- 千里山団地に生まれ、佐井寺・五月が丘育ち。藤白台在住
- 関西大学法学部／大阪府立大学大学院 公共経済学 博士前期修了
- ㈱ドコモCS（NTTグループ）で20年間、ICTシステムコンサルタント
- 吹田市議会 監査委員・建設環境常任委員
- 藤白台小学校 PTA会長（2018・19・23・24年）